

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念

市民アンケート調査では、「運動やスポーツをする理由」や「始めたいと思う理由」として、「健康・体力づくりのため」と回答した人の割合が6割を超えており、市民の健康づくりへの関心の高さがうかがえます。

また、スポーツには、健康増進のほか、共生社会の実現や地域の活性化など、活力ある社会づくりを進める力があります。本市でも少子高齢化が進む中、世代や障がいの有無を問わず、全ての人が生涯を通して自分自身に合った様々なスタイルで運動やスポーツを楽しみ、心と体の健康を実感するとともに、スポーツを通して地域コミュニティの活性化を推進し、笑顔と活気に溢れるまちづくりにつなげる必要があります。

本計画では、計画期間である7年間（令和3年度～令和9年度）の目指すべき姿を、前計画期間での考え方を踏襲しつつ、国が定めた「スポーツ基本計画」や、愛媛県が定めた「愛媛県スポーツ推進計画」の内容を踏まえ、以下のとおり定めます。

全ての市民が、スポーツを「する」「みる」「ささえる」を通して

心身の健康を実感し、笑顔と活力で地域を彩る

『坂の上の雲』のまち松山の実現

2. 基本目標

本計画では、基本理念の具現化に向け、以下の基本目標を設定した上で各種施策を展開します。

(1) 基本目標1

スポーツを「する」「みる」「ささえる」のいずれかを通して
スポーツのある生活を楽しむ人の割合

75%
以上

全ての人々が、運動やスポーツを自分自身に合った様々なスタイルで楽しめるよう、過去6ヵ月以内に、1回以上、運動やスポーツを実施したり、観戦したり、スポーツ大会や行事などの手伝いを行った人の割合を目標として設定します。

(2) 基本目標2

週1回以上、運動やスポーツを行う人の割合

60%
以上

令和2年2月に実施した市民アンケート調査では、週1回以上、運動やスポーツを行う人の割合は35%であり、前計画での目標の達成には至りませんでした。

このため、前計画での目標を継続することとし、運動・スポーツの実施率向上に引き続き取り組みます。

(3) 基本目標3

松山市はスポーツが盛んなまちだと思ふ人の割合

50%
以上

令和2年2月に実施した市民アンケート調査では、松山市はスポーツが盛んなまちだと思ふ人の割合は45.6%であり、思わない人の割合50.8%を下回っています。

本市でも少子高齢化が進む中、スポーツは健康増進のほか地域活性化のツールとしても大きな効果が期待されるため、各種取組を通してスポーツが盛んなまち「スポーティングシティまつやま」を推進します。

3. 施策体系のイメージ図

本計画の推進にあたり、以下の施策体系に基づき、各種取組を進めていきます。

